

令和2年度 学校評価シート（自己評価）

新 明 幼稚園

1、園の教育目標

恵まれた自然環境の中で徳・体・智の幼児教育を目標とする

<めざす子ども像>

- ① 情操豊かな幼児（思いやりのある子）
- ② 心身ともに健康な幼児（心も体も健康な子）
- ③ 理解力の深い幼児（話をよく聞き、考える子）の育成をめざして保育に取り組む

2、具体的な目標や計画

新型コロナウイルス感染対策に取り組み、園の実状に応じた運営を行う

- ① 室内プールでの水遊び、夏まつり、運動会、発表会等の安全な進め方について、園薬剤師と相談し意見を参考にしながら実施する
- ② 「歩いて育てる心と体」を合言葉に戸外での活動を積極的に行う
(日常的に土手や畑への散歩や近くの公園で遊ぶ)

3、評価項目の取組及び達成状況

| 評価項目 | 結果(※) | 結果の理由 |
|----------------|-------|--|
| 1 指導計画の見直し | A | ○ (4月・5月⇒休園) 6月から保育となったことで 室内プールは、7月のみの実施で三密を避けて行った ○ 運動会は園児の発表のみ、保護者2名までの参加とし、発表会は学年を入れ替えて安全に配慮して行うことが出来た ○ 親子遠足を廃止したことで園バスを使っての戸外活動や土手や畑への散歩を積極的に実施 |
| 2 教職員間の共通理解と連携 | B | 職員会議での時間を増やして、幼児の共通理解を深めたり、コロナ対策の仕方を話し合った (マスクの着脱、保育室の換気、園バス内の座席、噴霧器の利用、消毒や清掃等の仕方等) |
| 3 保護者との連携 | B | 園でのコロナ対策の仕方や園行事の取り組み方などを書面で伝え理解をはかった 安易に園行事を中止するのではなく縮小、時短したうえでコロナ対策をとりながら実施することが出来て 保護者にも安心理解してもらえた |

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結 果 | 理 由 |
|-----|---|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍中において園行事や毎日の保育活動に制限を設けて縮小しながらなんとか実施出来たが、どのようにどこまで対策することが良いのか不安の中で過ごしてきた ・ 気になる子の指導や保護者対応などについて園内研修の回数も少なくなり、子どもたちの発達に少なからず悪い影響を与えたように感じる ・ 教職員間の温度差もあり、連携の必要性を強く感じる |

○結果（※）について

| | |
|---|--------------------|
| A | 十分達成されている |
| B | 達成されている |
| C | 取り組まれているが、成果が十分でない |
| D | 取組が不十分である |

5、今後取り組むべき課題

| 課 題 | 具体的な取り組み方法 |
|-----------------|---|
| 保育の計画性と指導計画の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の記録をもとに子どもの姿や育ちを振り返る ・ 主体的な遊びが展開されるような環境構成を考える |
| 教職員間の連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 園の教育方針を十分に理解することで幼児一人一人の理解を深めたり園行事の効率的な進め方につなげていく |
| 保護者との連携、関係づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの姿や育ち、活動内容や取り組みを写真やホームページなどを利用して積極的に伝える ・ 子育ての悩みや相談に応え、良好な関係を築いていく |
| 園内研修の充実をはかる | <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍を乗り切るための対策に追われてしまい、気になる子等の共通理解と個別の指導計画の作成を行うために園内研修の充実に努める ・ 保護者対応のあり方など研修を行い、理解を深めていく |

令和2年度 学校評価シート（学校関係者評価）

新 明 幼稚園学校関係者評価委員会

日時 3 年 5 月 26 日（水）

15:00 ～ 16:00（時間）

出席者 評価委員（保護者） 2人

評価委員（地域住民） 2人

評価委員（学校評議員） 1人

1、自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

埼玉県や市町村からの情報を職員間で共有したうえで自園の状況に合わせた活動内容を検討した無理なく子どもたちが取り組めるような計画であったので、適切である

2、評価結果の内容は適切であったか

概ね適切である

3、今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

園の教育方針や幼稚園教育要領の理解には教職員1人1人の努力が必要である
園内研修の充実を図り、共通理解していくことが大切である
基本的な考え方に立ち戻り、設定されているため適切である

4、今後取り組むべき課題は適切に行われているか

<歩いて育てる心と体>を合言葉に、各学年とも積極的に散歩や戸外遊びを実践してきたため
適切である
今後も継続していくことで健やかな成長につなげてほしい